

第1学年1組 生活科学学習指導案

令和8年1月20日(火) 第5校時

男子11名 女子17名 計28名

指導者 教諭 黒瀧 勇介

場所 1年1組教室

1 単元名 「もうすぐ 2ねんせい」
～すこしずつ すこしずつ～

2 単元について

(1)第1学年グランドデザイン

校内研究のテーマ

確かな学力を育てる

～本気の課題に向き合い 未来を『そうぞう』する～

児童の実態・思い

本学級の児童は、生活科の学習に意欲的である。これまでの生活科の学習では、学校探検で地図づくり、あさがおの栽培、生きもの探し、水遊び、夏・秋探し、幼保小交流などの学習に取り組んできた。授業の中では、自分が見付けたことや気付いたことなどを、クラスみんなに伝えたい気持ち強い児童が多く、発言も積極的である。しかし、自分の意見を伝えたい思いが先行し、他の子の発表を聞いたり、話し合いによって思考を深めたりすることは苦手な傾向にあり、課題となっている。

漢字が書けるようになったり、難しい計算ができるようになったりしたときには、「やった。」「楽しい。」「嬉しい。」という発言があり、自分の成長を多くの場面で感じている姿が見られる。また、幼保小交流では、自分たちよりも年下の子たちの面倒をよく見ており、園児が楽しんでいる様子を見て、喜ぶ様子も見られた。

教材観

(その教材で学べること)

本単元は、学習指導要領の内容(9)を基に構成している。自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにすることをねらいとしている。

入学してからの1年間を写真や動画などの資料を用いながら振り返る活動を通して、自分自身の成長に気付くことができるようにしたい。また、学習面や生活面の成長と共に、成長を支えてくれた人々の存在に気付いたり、内面的な成長に気付いたりできるようにしていく。1年間でたくさんの成長をしてきたことを実感させることで、2年生へ進級することへの期待感を膨らませ、意欲的に生活していこうとする気持ちをもたせることができる。

教師の願いと授業の手立て

本単元では、小学校に入学してからの1年間を振り返る活動を通して、できるようになったことや役割が増えたことなど、自分自身が成長したことを実感させるような大切な時間にしたい。また、学習面や生活面の成長は内面的な成長と繋がっていることや、その成長を支えてくれている人々がいることにも気付かせたいと思っている。自分自身の成長や周囲の人々の支えなどに気づき、2年生でもさらに成長していけるという思いを膨らませ、意欲的に生活していけるようにしたい。

小単元1では、写真や動画、掲示物や成果物などの資料をもとに1年間を振り返ることで、「成長したな」「できるようになった」という気持ちが実感できるようにする。個人での振り返りから全体でまとめる活動へ繋げ、「自分にもその成長があてはまるな」と視野を広げることで、多様な成長に気付かせたい。「計算ができるようになった」「一人で学校の準備ができるようになった」等の学習面や生活面の成長を中心とした意見が出てくることが考えられるため、その際は「どのようにしてできるようになったのかな?」と問い返すことで、内面的な成長や成長を支えてくれている人々の存在に気付かせるようにしたい。

小単元2では、自分の成長について振り返り、友達と交流する活動を通して、保育園や幼稚園の先生方、保護者等お世話になった方々に自分の成長を伝えたいという思いを膨らませる。自分の成長をアルバムやランキング表、すごろくなど形あるものにして、成長を伝える時間を作る。伝える活動を通して思ったことや考えたことを全体で共有することで、周囲の人に支えられながら成長できたことを実感させ、2年生への期待感につなげる。

(2) 「確かな学力」とは

- ア 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力
- イ 学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等

(3) 本校の目指す児童像

- 必要感・切実感をもつ子 (入口を子供たちを中心に置いて決める)
- 主体的に学ぶ子 (過程を思いっきり楽しむ)
- 自分の生き方に活かす子 (その続きもわくわくする)

〔目指す子供たちの姿を基にした仮説〕

① 「必要感・切実感をもつ子」

- ・子供たちが行動や実践から単元の学習を始めれば、興味関心が高まり「！」(気付き)や「？」(疑問)を自ら見付けにいき本気の課題をもつだろう。

② 「主体的に学ぶ子」

- ・自分が見つけてきた「！」や「？」を学級で考えて向かう課題やめあてが決まれば安心感が生まれ、対話的になったり、没頭して取り組んだりして主体的に解決へ向かえるだろう。

③ 「自分の生き方に活かす子」

- ・生活科や総合的な学習の時間を通して、社会や自然の一員として既習事項や他教科と合科化しながら何をどのようにしていくか考えたり、自分にとって学ぶことの意味や価値を考えたりすることで、自己の生き方の糧とするだろう。

〔仮説にせまる手立て〕

<仮説①に対する手立て>

- ・行事や学習の様子を撮影した写真や動画、これまでに作成した掲示物や成果物などをもとに振り返ることで、視覚的にわかりやすく楽しみながら自分自身の成長に気付くことができる。その気付きをもとに、「どうして成長できたのか」という視点を持ち、考えることができるようにする。
- ・思考ツールを活用しながら、児童の思考を整理した板書にする。

<仮説②に対する手立て>

- ・個人からペア、そしてクラス全体での共有に活動を広げるように教師が授業の流れをコーディネートすることで、一人一人が自分の考えをもち、活発な話し合いになる。
- ・児童の発言に対して「どうして？」等と問い返し、無自覚な気付きを自覚させることで気付きを深められるようにする。
- ・思考ツールを活用することで、学習面や生活面の成長が関連付けやすくなったり、内面的な成長へ気付きやすくなったりする。

<仮説③に対する手立て>

- ・自分自身の成長を各自がそれぞれの方法(アルバム、ランキング表、すごろく等)でまとめられるようにすることで、楽しみながら気付きの質を高められる。

(4) 研究主題との関わり

本校では「確かな学力を育てる～本気の課題と向き合い 未来を『そうぞう』する～」を主題としている。本単元では、入学してからの1年間を振り返る活動を通して、自分自身の成長に気付いたり、その成長が周囲の人々によって支えられていることに気付いたりすることをねらいとしている。

小単元1では、写真や動画、掲示物や成果物などをもとに振り返りを行い、視覚的にわかりやすく楽しく自身の成長に目を向けられるようにする。その成長したことに對して教師が「どのようにしてできるようになったの?」と問いかけることで、内面の成長や周囲の人々の支えに気付くことができるようにしていく。教師からの問いかけや視覚的にわかりやすい児童の思考を整理した板書を行うことで、気付きの質を高めていきたい。また、児童の発表だけでなく、小さなつぶやきにも耳を傾け、全体へ共有できるようにしていく。つぶやきの中に共有したい価値ある気付きが低学年では多いように感じるためである。

小単元2では、自分の成長をまとめ伝える学習に取り組んでいく。幼稚園・保育園の先生や保護者等、これまでお世話になった人に知らせるためにまとめることで、意欲的に活動に取り組むことができる。まとめる形として、アルバムやランキング、すごろく等の、成長を目で見て感じ取れるものが考えられる。また、まとめた物で遊んだり交流したりする中で、たくさんの人に支えられていることに気付き、「2年生でもさらに成長していきたい。」「2年生になるのが楽しみ。」という期待感をもって、意欲的に「未来を『そうぞう』』していけると考えられる。

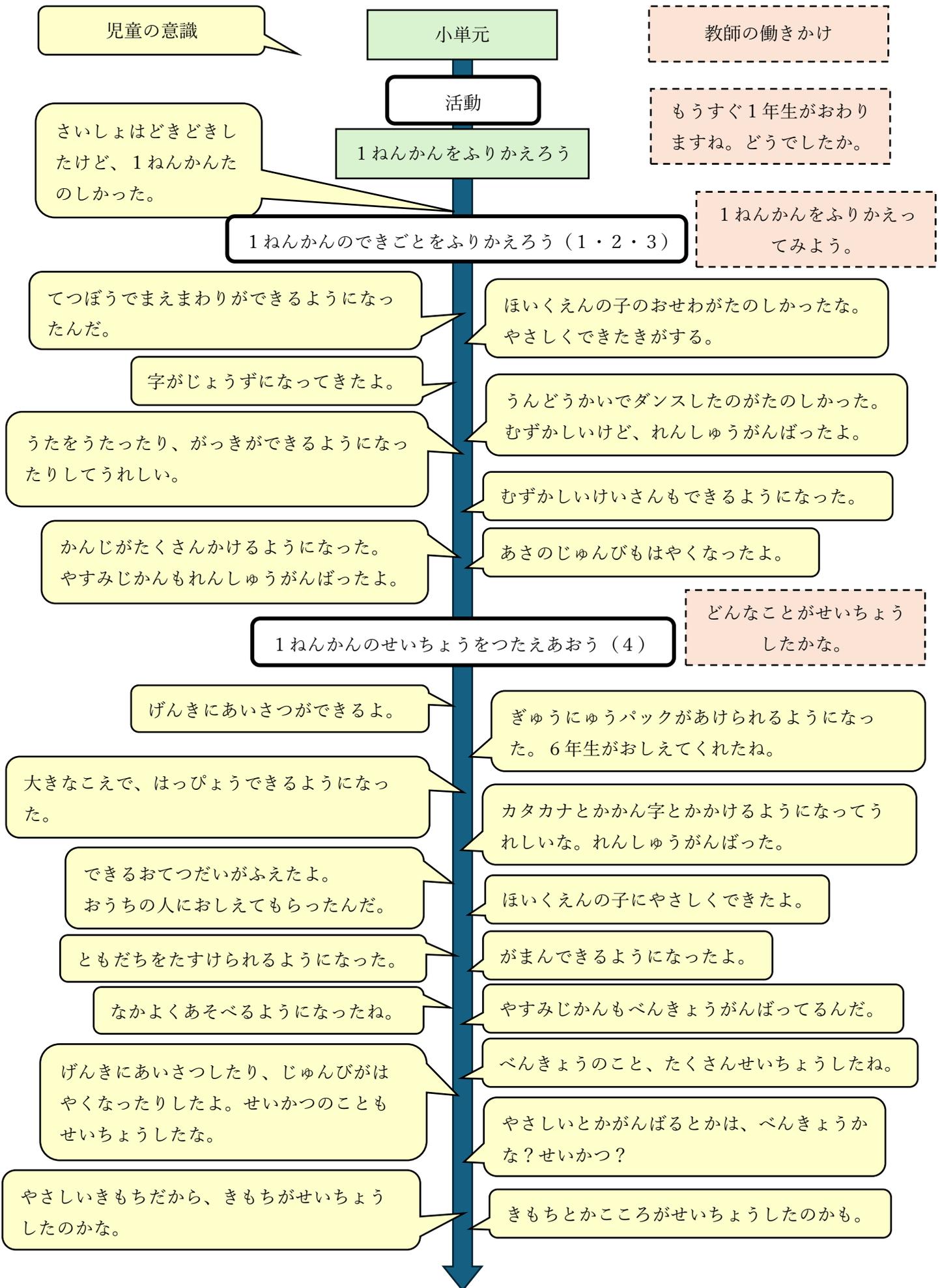
(5) 単元の目標

入学してからの1年間を振り返る活動を通して、入学したときの自分と今の自分を比べたり、成長を支えてくれた人々について考えたりすることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことに気付くとともに、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。

(6) 評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価 規準		○入学してからの1年間を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くとともに、自分の成長を支えてくれた人々と自分との関わりに気付いている。	○入学してからの1年間を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。	○入学してからの1年間を振り返る活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。
学習活動 (小単元) における 評価規準	1	①-1 自分が成長したり、役割が増えたりしていることに気付いている。 ①-2 友達と仲良く遊べるようになったことなど、多様な成長に気付いている。	①入学したときの自分と今の自分を比べながら、自分でできるようになったことを探したり、まとめたりしている。	①入学したときからの自分の成長や生活を振り返ろうとしている。
	2	②自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。	②自分の成長と、周囲の人々との関りを感じ、支えてくれた人々がいることについて話している。	②周囲の人々に支えられながら成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

3 児童の意識の流れ



おおきくなったじぶんをみつめよう

じぶんのせいちょうのつたえかたを
かんがえよう (1)

先生はみんなのせいちょうをほ
かの人もしてほしいな。だ
れにしてほしいかな。

ようちえんの先生にしてほしいな。

ほいくえんの先生にしてほしいな。

ぼくはおうちの人に見せたい。

6年生に見てほしい。

アルバムにしたら見てもらえると思う。

どうやってしてもらおうか。

ゲームにしたら楽しいかもしれない。

どうがにとるのもいいな。

ランキングではっぴょうしようかな。

すごろくにしてもおもしろいとおもう。

じぶんのせいちょうをまとめよう (2・3・4)

じぶんのせいちょうを
まとめていきましょう。

アルバムにまとめよう。
1がっきよりも2がっきのほうがおおいな。

れんしゅうをがんばったこともかこう。

〇〇さんがさんすうのむずかしいもんだいをおしえてくれたんだ。

1がっきは6年生がたくさんおてつだ
いしてくれたね。

すごろくもたのしいな。
せいちょうしたところは2マスすすもう。

がんばってれんしゅうしたら、とびば
こがとべたよ。

かんじがきれいにかけるようになったよ。
たくさんれんしゅうしたんだよ。

ほいくえんの子にやさしくおしえられたよ。

1ねん1くみのせいちょうを
してもらおう (5・6)

みんなのせいちょうを
見てもらいましょう。

せいちょうしてるのをしてもらえて
うれしいな。

みんなたくさんせいちょうしたんだよ。

6年生やおうちの人とか、たくさんの人に
たすけてもらってできるようになったよ。

〇〇さんもたくさんせいちょうしてる。

たくさんせいちょうできてうれしいです。

2年生もたのしみだな。
はやくなりたい。

いろいろな人にささえられて、
ありがとうっておもったよ。

学しゅうをふりかえろう (7)

2年生でもレベルアップできる
ようにがんばろう。

4 単元の指導計画・評価計画（計11時間）

小単元名 (時数)	◎ねらい ○主な学習活動(時数)	小単元の評価時数との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿 評価方法 発言分析 記述分析 カード分析 つぶやき分析 行動観察 作品分析	●活用する資料、外部人材 ※関連する教科など
1 1ねんかんをふりかえろう (4時間) 本時4/4	◎1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを見付けたり、まとめたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。 ○入学してからの1年間の出来事を振り返り、まとめる。(3) ○1年間の自分自身の成長をみんなと伝え合う。(1)	知一①-1 思一① 態一① 知一①-2 態一①	・自分が成長したり、役割が増えたりしていることに気付いている。 発 つ 記 ・1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになった事を探したり、まとめたりしている。 発 つ 記 ・1年間の自分の成長や生活を振り返ろうとしている。 発 つ 記 ・友達と仲良く遊べるようになったことなど、多様な成長に気付いている。 発 つ ・1年間の自分の成長や生活を振り返ろうとしている。 発 つ	●活用する資料、外部人材 ※関連する教科など ●保護者インタビューカード（成長したことについて） ●掲示物（活動をまとめたもの） ●行事や学習活動の写真、動画 ●成果物
2 おおきくなったじぶんをみつめよう (7時間)	◎自分の1年間の成長をまとめる中で、自分の成長と周囲の人々との関りを感じ、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付くとともに、2年生への願いをもって意欲的に生活していこうとすることができるようにする。 ○自分の成長をどのように伝えるか考える。(1) ○自分の成長をそれぞれの方法でまとめる。(3) ○自分の成長を伝えよう。(2) ○これまでの学習を振り返る。(1)	知一② 知一② 思一② 思一② 態一②	・自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。 発 つ ・自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。 発 つ 記 作 ・自分の成長と周囲の人々との関りを感じ、させてくれた人々がいることについて話している。 発 つ ・自分の成長と周囲の人々との関りを感じ、ささえてくれた人々がいることについて話している。 発 つ ・周囲の人々に支えられながら1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 発 つ 記 作 行	※国語 『しらせたいな、みせたいな』 『こんなことがあったよ』 ※図工 『せんせいあのね』

		態一②	・周囲の人々に支えられながら1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 記
--	--	-----	--

5 本時の学習計画

(1) 本時の目標

○友達の発表を聞きながら、多様な成長に気付くことができるようにする。

(2) 具体の子供の姿（評価規準）

- ・友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の多様な成長に気付いている。（知識・技能）
- ・1年間の自分の成長や生活を振り返ろうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

(3) 本時の展開

○学習活動 ・予想される子どもの思考と反応	★評価規準（評価方法） ☆指導の留意点、手立て	時間
<p><前時まで></p> <p>○自分の成長についてカードにまとめる。</p>	<p>☆写真や掲示物など常に見られるようにしておく。</p> <p>☆成長カードは事前に回収し、児童の記述内容を把握しておく。</p>	
<p>本時のめあて</p> <p>1ねんかんのせいちょうをつたえあおう</p>		2
<p>①カードを種類ごとに分ける。</p> <p>・たしざんができるようになったのべんきょうのことだ。</p> <p>・かん字がかけるようになったのもべんきょうのことだ。</p> <p>・べんきょうでたくさんせいちょうしてる。</p> <p>・ほいくえんの子にやさしくできたのはこのことかな。</p> <p>・げんきにあいさつができるようになったのは生活だ。</p>	<p>☆自分の成長を学習、生活、心（気持ち）の3つに分類させる。</p> <p>☆教師が「みんなのカードを見たら、勉強も生活もこころの成長もたくさん書いてあってすごいなと思ったよ。」と声掛けし、どのように分類のヒントを与えるようにする。</p> <p>☆視覚的にわかりやすいように、学習（青）、生活（黄）、心（赤）として色鉛筆で色分けをさせる。</p>	5
<p>②ペアでそれぞれできるようになったことを伝え合い、交流する。</p> <p>・ぼくは、かん字がたくさんかけるようになったよ。</p> <p>・ぎゅうにゆうパックがあげられるようになった。6年生におしえてもらったよね。</p> <p>・〇〇さんはきいろがおおくて、わたしは青がおおいな。</p> <p>・〇〇さんがかいてるの、ぼくのといっしょだ。</p> <p>・〇〇さんのかいてるの、わたしもかこう。</p>	<p>☆お互いに見合いながら、気付いたことについて自由に交流させる。</p> <p>☆自分の成長について、新しくカードに記入できるように、カードを用意しておく。</p>	13

<p>③自分の成長について、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしざんができるようになったよ。 ・かん字がかけるようになってうれしい。 ・ほいくえんの子にやさしくできた。 ・だんだん字が上になってきたな。 ・ぎゅうにゆうバックがあけるられるようになった。6年生におしえてもらったからだ。 ・クロムでログインできるようになったよ。 ・みんなでなかよくあそべるようになった。 ・なわとびがとべるようになった。 ・べんきょうをじぶんでつづけられうようになったな。 ・あさのじゅんぴがまえよりはやくなったよ。 	<p>☆なるべく多く児童の発言を板書することで、視覚的にもたくさんの成長があることを実感させやすくする。</p> <p>☆思考ツールを活用することで、児童の思考を整理しやすくする。</p> <p>☆児童の発言に対して、「どうしてできるようになったのかな?」と問い返すことで、本時の目標に迫れるようにするとともに、気づきについても板書する。</p> <p>☆周囲の人々の支えがあることについて気づきがあれば、板書する。</p> <p>☆「〇〇さんと同じような成長した人はいますか?」など児童に問いかけ、同じような成長についても自分の言葉で発言させ、児童同士のつながりも意識させる。</p> <p>☆児童の発言やつぶやきから拾い、共有できるようにする。</p> <p>☆気付いたことや考えたことなども共有することで、たくさんの成長があることをより実感できるようにしたい。</p> <p>★1年間の自分の成長や生活を振り返ろうとしている。 (発言・つぶやき)</p> <p>★友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の多様な成長に気付いている。 (発言・つぶやき)</p>	20
<p>③振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんできることがあって、うれしい。 ・もっとがんばりたい。 ・きもちもせいちょうできた。 ・ようちえんの先生にもしってほしいな。 ・おうちの人にもしってほしい。 	<p>☆板書や成長カードを見ながら記入するように、声をする。</p> <p>☆「先生はみんなの成長したことを知れてすごく感動したんだ。他の人にも知ってほしいんだけどな。」と問いかけ、次時のまとめる活動への期待感をもたせながら学習を終えられるようにする。</p>	5

6 板書計画

